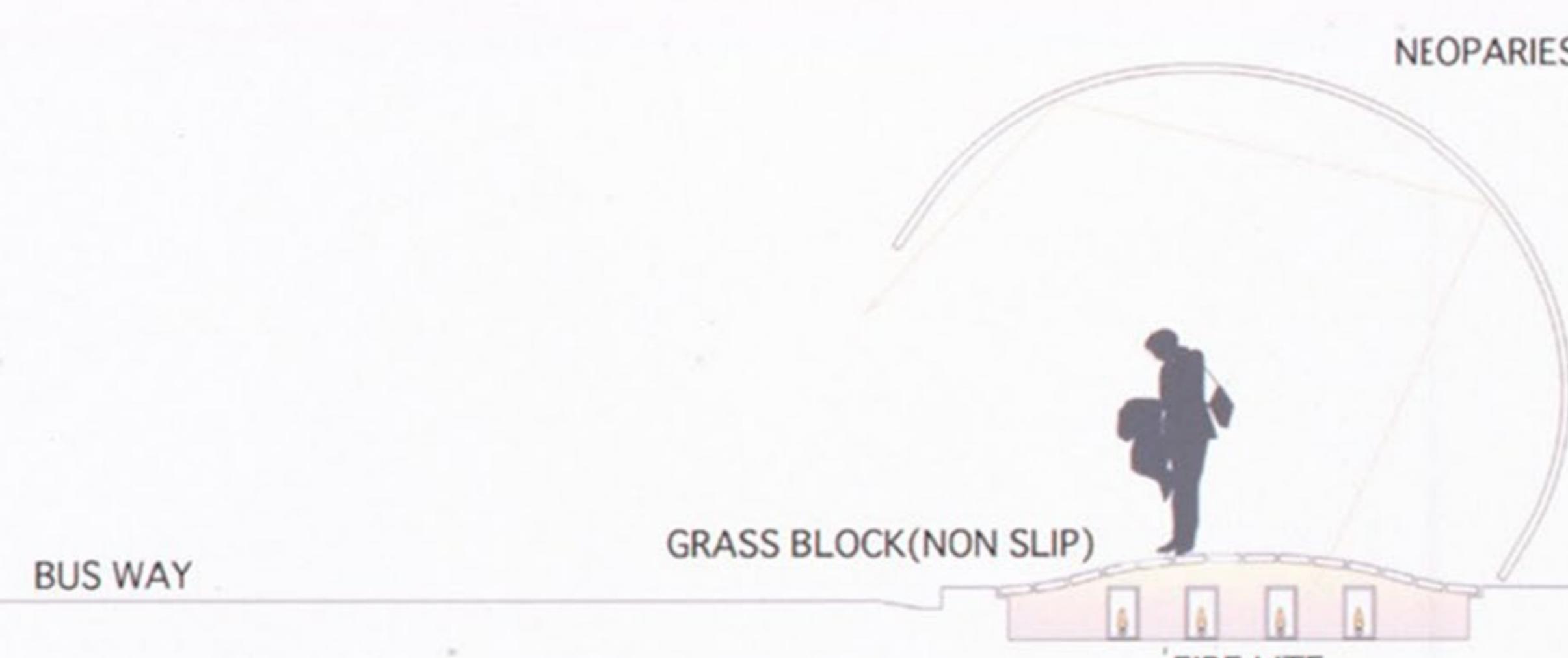
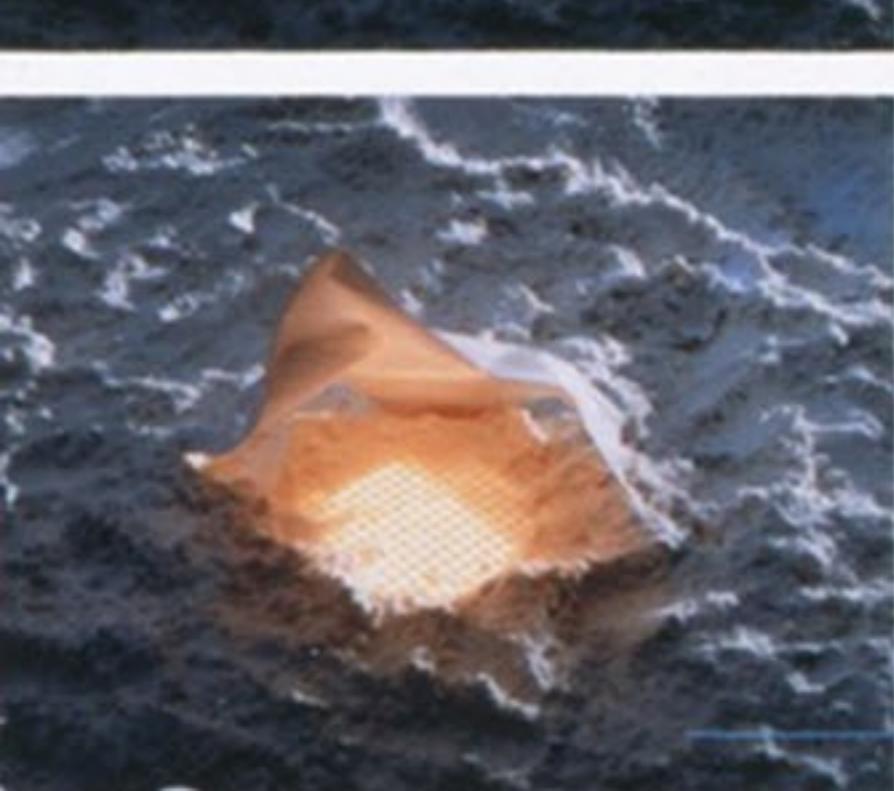
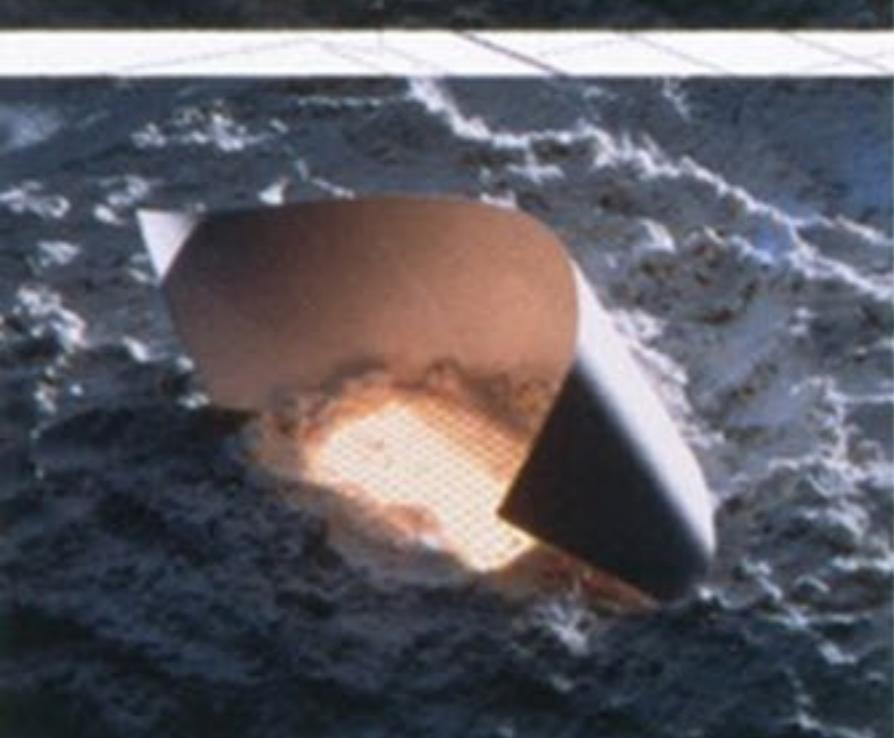
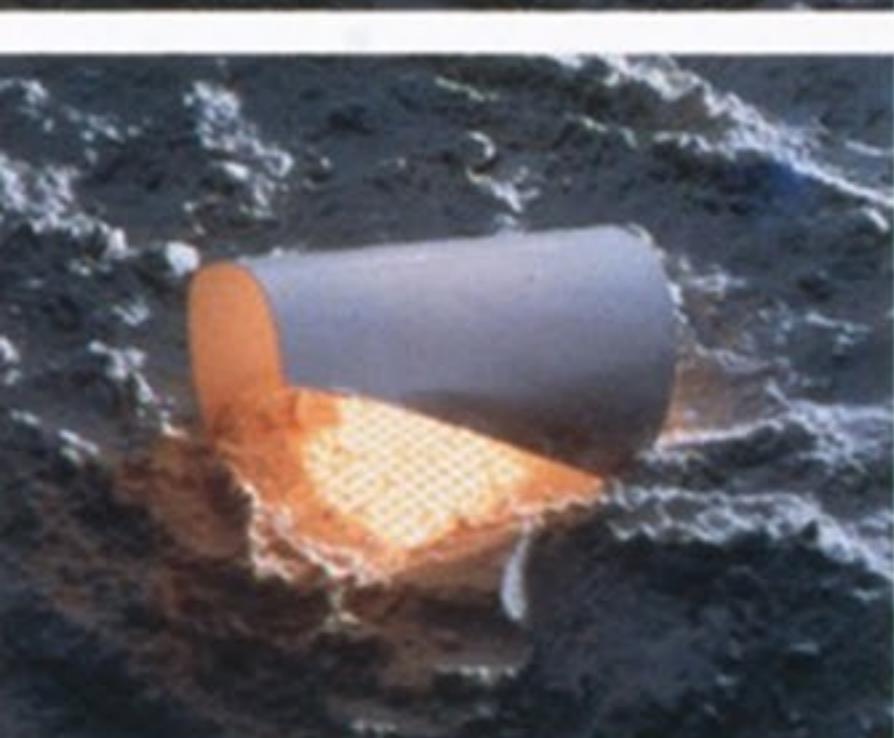
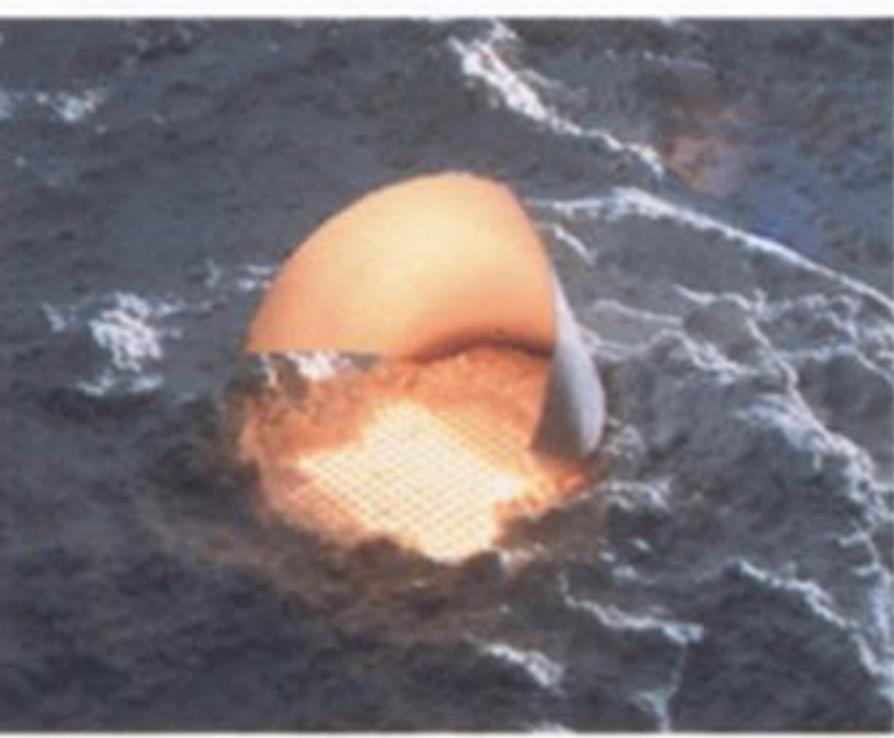
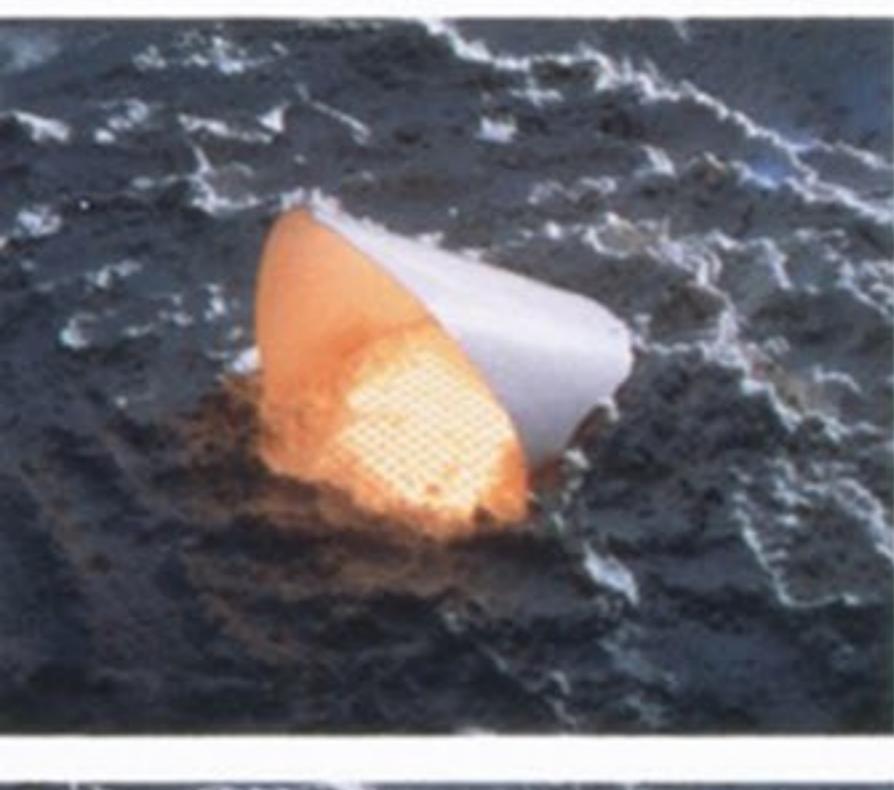




STORY ON THE SNOW



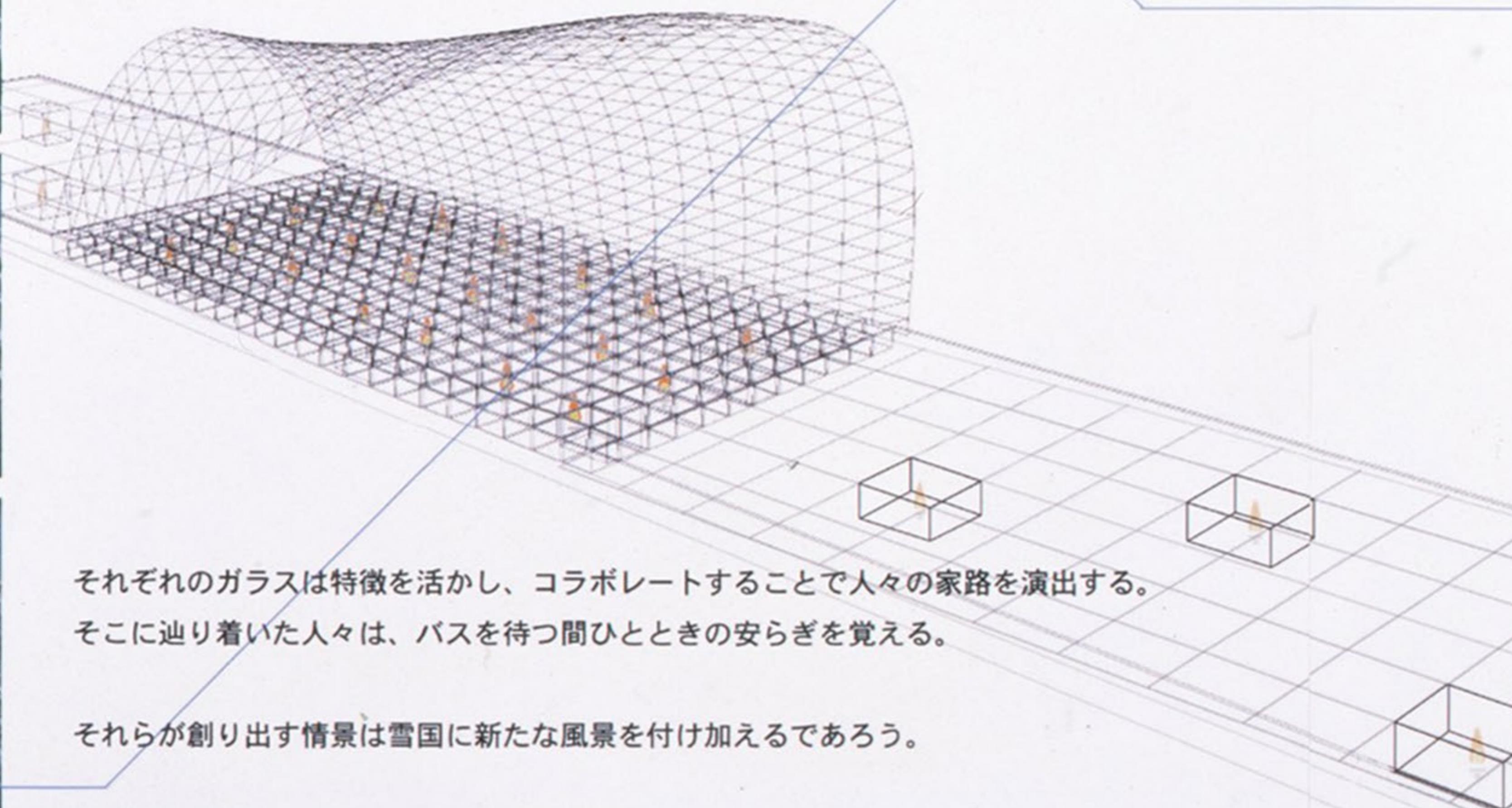
あしもとを照らす灯火は、人々を一際暖かい場所へと導く・・・

このプロジェクトは、雪国におけるバス停の提案である。
これらは三種類のガラスによって構成される。

FIRE LITE (BOX)
ファイアライトは炎を雪の中に埋め込むことを可能にし、降り積もった雪を溶かす。
また、そこから漏れた明かりはバス停までの道しるべとなる。炎を包むボックスは、
ガラスブロックの床下に潜り込みその隙間にたまる空気を暖める。

GLASS BLOCK (FLOOR)
ガラスブロックでできた床は、暖められた空気を閉じ込め床暖房として機能し人々
の足元をほぐす。また、炎の揺らめきを拡散しネオパリエの内壁を照らします。

NEOPARIES (WALL)
ネオパリエの内壁は、下からの明かりや熱を反射させ人々を柔らかく包み込む。
そして、プロジェクトにより様々な映像を写し出すスクリーンとして機能し、地域
の情報の発信源ともなり得る。また、造形の自由さは様々な壁を可能とする。



辺りが暗くなりはじめ、ぽつぽつと足下に灯がともされる

